

DBd療法(初回)

1コース 3週

薬剤・略号	商品名	投与量	投与日
ダラツムマブ	ダラザレックス	16 mg/kg	Day1,8,15
ボルテゾミブ	ベルケイド [®]	1.3 mg/m ²	Day1,4,8,11
デキサメタゾン	レナデックス	20 mg	Day2,4,5,9,11,12 ※1

※1 75歳以上またはBMI 18.5未満は省略

Day1

モンテルカスト(シングレア)錠(10mg) 1錠 / 1×ダラザレックス投与2時間前 内服

- ① デキサート注(6.6mg) 3V + ポララミン注(5mg) 1A + 生理食塩液 100ml
/ ダラザレックス投与2時間前から1hrでDiv
- ② アセリオ注(1000mg) 1P / ダラザレックス投与1時間前から15minでDiv
- ③ ベルケイド ()mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
- ④ 生理食塩液 10ml / フラッシュ
- Y ⑤ ダラザレックス ()mg/body + 生理食塩液 1000ml / ※3
インラインフィルター付ルートを使用
- Y ⑥ 生理食塩液 50ml / 後押し
Y字から投与, バッグアダプタ使用

day4

- ベルケイド ()mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
- 生理食塩液 10ml / フラッシュ

Day8

- ① デキサート注(6.6mg) 3V + ポララミン注(5mg) 1A + 生理食塩液 100ml
/ ダラザレックス投与2時間前から1hrでDiv
- ② アセリオ注(1000mg) 1P / ダラザレックス投与1時間前から15minでDiv
- ③ ベルケイド ()mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
- ④ 生理食塩液 10ml / フラッシュ
- Y ⑤ ダラザレックス ()mg/body + 生理食塩液 500ml / ※4
インラインフィルター付ルートを使用
- Y ⑥ 生理食塩液 50ml / 後押し
Y字から投与, バッグアダプタ使用

day11

- ベルケイド ()mg/body + 生理食塩液 / 静注・皮下注 ※2
- 生理食塩液 10ml / フラッシュ

Day15

- (1) 生理食塩液 100ml / ルートキープ (外来のみ)
- ① (2) デキサート注(6.6mg) 3V + ポララミン注(5mg) 1A + 生理食塩液 100ml
 / 入院:ダラザレックス投与2時間前から1hrでDiv
 / 外来:ダラザレックス投与1時間前から30minでDiv
- ② (3) アセリオ注(1000mg) 1P / 入院:ダラザレックス投与1時間前から15minでDiv
 / 外来:ダラザレックス投与30min前から15minでDiv
- ③ 生理食塩液 20ml / フラッシュ(入院のみ)
- Y ④ (4) **ダラザレックス ()mg/body + 生理食塩液 500ml / ※4**
 インラインフィルター付ルートを使用
- Y ⑤ 生理食塩液 50ml / 後押し(入院のみ)
 Y字から投与, バッグアダプタ使用

【↑ ○囲い数字は入院、()付数字は外来】

※2 静注 :1バイアルを生理食塩液3mlで溶解し、必要量を採取する。
 皮下注:1バイアルを生理食塩液1.2mlで溶解し、必要量を採取す

※3 生理食塩液で希釈して最終投与液を1000mlとする。

※4 day1 投与開始から3時間以内にinfusion reactionを認めない場合、生理食塩液で希釈し最終投与液を500mlとする。

ダラザレックス投与速度 (infusion reactionを認めない場合)

	day1,8	day15,22 ※5
0～1時間	50ml/時	100ml/時
1～2時間	100ml/時	150ml/時
2～3時間	150ml/時	200ml/時
3時間以降	200ml/時	

※5 day1,8の最終速度が100ml/時以上でinfusion reactionが認められなかった場合、100ml/時から開始する。また、2時間以降は200ml/時で投与。

infusion reaction 発現時

1) Grada 1～3

ダラザレックスの投与を中断。回復した場合は、infusion reaction発現時の半分以下の投与速度で再開する。Infusion reactionの再発が無ければ、投与速度を増量可。Grade 3のinfusion reactionが3回発現したら投与中止。

2) Grada 4

ダラザレックスの投与を中止。